



# すてい~る

## 目次

### ● 特集 青年部会「第3回定時総会」

● 青年部会「第3回定時総会」を開催	1
● 青年部会「東京モーターショー」を見学、ビジネスサミットも同時開催	3
● タイ特殊鋼流通事情視察研修報告	4
● 平成15年度「特殊鋼販売技士2級・3級」合格者のお知らせ	7
● 突然おじゃま 武田彰久 野村鋼機(株)取締役・前橋支店長	9
● 私の愉しみ 橋本 勝 蔵前産業(株)代表取締役	11
● 理事会・委員会報告	13
● 事務局だより・編集後記	裏表紙



社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号 (鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>

E-mail [zentoku3@ba2.so-net.ne.jp](mailto:zentoku3@ba2.so-net.ne.jp)

# 青年部会「第3回定時総会」を開催

新部長に木村雅昭氏を再任  
副部長は7名体制へと増員に



全特協・青年部会では10月24日（金）東京・鉄鋼会館にて第3回定時総会を開催しました。

総会では、同業者間の事業協力を促進する目的の「ビジネスサミット」や「ハガネサミット」の開催など、共同化メリットに関する事業や各地の若手の会との交流事業などが盛り込まれた平成15年度事業計画書（案）などが承認されました。また、3期目を迎えるにあたり運営委員の選任および顧問の委嘱が行われ、新部長には木村雅昭氏（深江特殊鋼・常務）を引き続き再任いたしました。なお、副部長には碓井達郎氏（碓井鋼材・社長）、浜田訓通氏（浜田ハガネ・社長）、堀田靖氏（堀田ハガネ・社長）、宮内保氏（小山鋼材・社長）の再任とともに、古池晃氏（古池鋼業・専務）、出口弘親氏（スチールテックデグチ・専務）、近藤泰幸氏（近藤ハガネ商店・代表）が新任されました。



木村 雅昭氏



碓井 達郎氏



浜田 訓通氏



堀田 靖氏



宮内 保氏



古池 晃氏



出口 弘親氏



近藤 泰幸氏

## 木村部会長あいさつ



青年部会・部会長  
木村 雅昭

### 団結をより強固にし、ビジネスを意識した部会へと成長させる

青年部会設立以来3期目の部会長選任を受け、身の引き締まる思いを新たにしております。青年部会設立からの2年半を振り返りますと、部会員の団結が非常に強いものになり活発に機能する部会になったことを実感しております。これにつきましては、活動をともにしてくださった部会員の皆さまと、われわれ青年部会を力強くご支援してくださいました三上会長、福森専務理事をはじめとする全特協の方々へ感謝の意を表します。

部会員の団結の高まりにつきましては大いなる成果といえますが、今期の課題としましてはこの団結をさらに強固なものにしていく所存です。さらに今後は、この団結力を活かしながらビジネスに重点をおいた懇談の場を設け、青年部会を直接的あるいは間接的にでもビジネスを意識した部会に成長させていきたいと考えています。今総会後に予定しておりますビジネスサミットなどがそうした取り組みのひとつで、今後はその内容の充実も図っていく所存です。

経済界でも若い経営者が目立つようになってきている昨今ですが、30代40代という若い人間が役割を与えられるという時代にもなったといえますし、また役割を担わなければいけない時代にもなったといえます。そうした背景から、全特協にとって青年部会の役割は非常に大きなものになるのではないかと考えています。若さということは年齢のことだけでなく、前例にとらわれることなく正しいことをしっかりと議論し、確実に実行していくことだと考えます。そうした議論のなかで前例の踏襲にとどまらず、前例を踏まえながら新しい事業を拡大していく所存です。

いずれにしても、若い人間が大きな役割を担わなければいけないことを肝に銘じ、青年部会を核にして多くの人との出会いを求め、そのコミュニケーションのなかから協調と共存共栄を実現できるような青年部会を目指していきたいと考えております。

## 三上会長あいさつ



(社)全日本特殊鋼流通協会・会長  
三上 聡彦

### 活発な活動が協会全体への活気になるよう期待

木村部会長からの心強いスピーチをいただきまして、本会である全特協でも会員の皆さまに胸をはって提示できる事業を進めていかなければいけないと痛感いたしました。

青年部会では、若い皆さんの集まりからさまざまな斬新なアイデアをいただき、本会への刺激にもなり大いに役立つ活動を展開していただいていること感謝申し上げます。たとえば、全特協のホームページにおきましても青年部会を中心に現在制作・更新が行われており、特殊鋼流通業界のアイデンティティを高める企画の充実には一同大きな期待を抱いております。

なお、本会の3カ年計画の進捗状況をご報告申し上げますと、中核事業である特殊鋼販売技士および特殊鋼販売加工技士の講習、認定は順調に推移しております。また、今年度は他団体との協業、たとえば特殊鋼倶楽部の人材育成委員会とともに講演会・勉強会などを共同で行うよう計画しております。さらに、3カ年計画の中核的な事業として10年先の特殊鋼業界のあるべき姿を模索する目的で、現状の問題点を含めた意見交換を行うワーキンググループを設置、この下期から活動を開始しております。

今後、青年部会の皆様におきましてはさらに活発な事業展開をなされ、それによって協会の事業にも役立てていけるよう期待をしております。引き続き木村部会長および新執行部のもと、青年部会が輝きのある活動をされることを祈念いたしましてごあいさつに替えさせていただきます。



# 青年部会「東京モーターショー」を見学



## 特殊鋼と関わりの深い自動車の最新情報に触れ 部会員相互の意見交換も活発に

全特協・青年部会では10月24日（金）の第3回定時総会に先立ち、千葉県・幕張メッセで開催された「2003年・第37回東京モーターショー」の見学会を実施しました。

第37回東京モーターショーは、「いま、挑む心。Challenge & Change - 希望、そして確信へ -」をテーマに、世界14カ国から263社が参加。世界初の発表87台（部品部門40件）、日本初の発表96台（部品部門16件）が出品されました。今大会の特徴は、展示車両の充実はもちろん従来の“見せるショー”から“来場者参加・体験型ショー”に変貌。出品内容では、最先端技術を駆使した「環境への配慮」、またクルマ本来の走る喜び・使う楽しさをアピールしたものが多く、新鮮さにあふれ非常に見応えのある大会となりました。

青年部会でも、環境への取り組みや最新素材の使用など、特殊鋼と関わりの深い自動車産業の最新情報を実見し、部会員相互の意見交換がなされた有意義な見学会となりました。



## 「東京モーターショーを見学して」

～木村部会長談話～

特殊鋼の最大ユーザーである自動車の祭典は非常に興味深いものでした。車そのものだけでなく部品等の展示も多く、部品が新素材の活用や軽量化などでどんどん進化していることに刺激を受けました。また、自動車も環境に配慮した新しい製品づくりがなされていることに非常に感銘を受け、われわれも今後のビジネスに関して勉強をしていかなければいけないと感じました。

## ビジネスサミットも同時開催



### ビジネスにも役立つ部会を目指して 活発な情報・意見交換を行う

総会後には東京・銀座の中華料理「過門香」にて「ビジネスサミット」を開催しました。ビジネスサミットとは、「ビジネスにつながる懇談の場を設けよう」という今期以降の青年部会としての取り組みの第一弾で、部会員相互の自己紹介とともに、それぞれの会社のビジネススタイルや特色を発表するものです。部会員相互のビジネスにも役立つ部会に成長するよう各種の情報・意見交換が活発に行われ、熱気のある懇談の場となりました。

# タイ特殊鋼流通事情視察研修報告



タイメタルワン(株)神崎アセアン総代表によるプレゼンテーション

1. 経済成長率が5.8%、失業率は2.1%といわれるタイの国内景気は元気いっぱい、今回訪問した各企業は、いそがしく作業をしておりました。

東京・大阪・名古屋から現地入りした一行は、到着した当日の夕刻、ホテル会議室タイメタルワン(株)神崎洋アセアン総代表からタイ鉄鋼業界の概要について約1時間レクチャーを受けました。タイには、高炉・電炉はなく、中間製品の輸入で対応しており、中間製品から製品を作る丸棒・線材メーカー、自動車用薄板圧延メーカー、ステンレス圧延メーカー等があります。素材の大半は日本からの輸入でしたが、韓国・ロシアからの中間製品の輸入も目を引きました。タイには熱処理メーカーDaido PDM (Thailand)Co.,Ltd.を含めて8社しか無いということです。

2. 訪問先別の概要は次のとおりです。

## Daido PDM (Thailand)Co.,LTd

- ・ 設立は1996年
- ・ 従業員70名 (内日本人4名)
- ・ 金型プレートの加工販売、金型用鋼の販売

日本(大同材) 欧州から素材を輸入して、マッチ箱の大きさから大型テーブルサイズのプレート加工にいたるまで、あらゆる顧客ニーズに適應する生産体制を確立している。



Daido PDM 花輪社長(左)とBangkok Special Steel Supat社長(中)



質疑応答の風景

## Bangkok Special Steel Co.,Ltd.

- ・ 設立は1971年
- ・ 従業員230名
- ・ 特殊鋼の輸入業者としては、タイ国内最大の流通業者である。
- ・ 材料は日本（大同、住金、NKK）、韓国（KIA）、欧州（独）材を輸入している。
- ・ 約10,000トンの在庫は、ゆとりのある倉庫に広々と置かれていた。
- ・ 倉庫内の作業はヘルメット無しであった。ヘルメットよりも安全靴が大事であるとの社長のコメントを得ました。



丸棒在庫はサイズを不規則にならべている。異材出荷を防ぐため

## MC Metal Service Asia(Thailand)Co.,Ltd.

- ・ 設立は1997年
- ・ 三菱商事(株)のコイルセンターで、日本の新日鉄・JFE・住金からのHot Coilを輸入して、自動車body用の鋼板を打ち抜いている。
- ・ 従業員128名（内日本人13名）日本から進出してきた自動車メーカーの購買担当者に日本人が多いこともあって、その対応策として日本人スタッフを多く抱えている。
- ・ 工場管理運営は、日本の五十鈴鋼材(株)にお願いしており、工場で働く現地工員は訪問したわれわれに対しても手を合わせてあいさつされ、好感がもてました。
- ・ 自動車bodyのブランキングラインを見る機会は少ないので、大変興味深く見学しました。



質疑応答の風景

## Mahajak Kyodo Co.,Ltd.

- ・ 設立は1996年
- ・ 従業員71名（内日本人4名）
- ・ 日商岩井(株)系列で大阪・協同シャフト(株)の指導で磨棒鋼を製造している。
- ・ 素材は(株)神戸製鋼所からBar in Coilを輸入して引き抜き機で磨棒鋼を製造し、タイ国内ユーザーに納めている。



Mahajak Kyodo 友田社長



工場の壁にある「5S」は整理・整頓・清掃・清潔・しつけを表している



## Mahajak Autoparts Co.,Ltd.

- ・ 設立は1989年
- ・ 従業員620名
- ・ (株)神戸製鋼所から母材を輸入して、熱処理・切断・鍛造工程があり、さらにはwireに加工して自社の機械で Bolt,Nutを製造している。
- ・ 納入先は自動車メーカーである。



Chalumさんを囲んで記念写真

## タイ鉄鋼協会

- ・ 設立は2000年
- ・ 半官半民で会員から会費を徴収している。
- ・ タイ国内の鉄鋼事業に競争力強化や、鉄鋼業界に対する情報提供、技術指導などが主要な業務となっている。



事業開発局長Mr.Preeprem Malasittを囲んでの集合写真



質疑応答会場風景

### 3. 最終日の午後は、国際機械展 (METALEX)を見学しました。

- ・ 台湾の工作機会が多数出展していました。
- ・ 切削工具やダイヤモンド粉末を使った研磨機械などが展示されていました。



国際機械展



# 平成15年度 「特殊鋼販売技士2級・3級」合格者のお知らせ

## 平成15年度 特殊鋼販売技士2級研修講座

特殊鋼販売技士2級研修については、東京支部（受講者49名・受験者50名）、大阪支部（受講者51名・受験者51名）、名古屋支部（受講者56名・受験者53名）において、9月1日（月）から10月24日（金）まで行い（受講者合計156名・受験者155名）、10月30日（木）前記の各支部と東北支部において検定試験を行い、東京支部49名、大阪支部49名、名古屋支部50名、東北支部1名、合計149名が合格しました。

### 100点取得者 13名

東京支部（5名）	大西 哲雄	(株)マクスコーポレーション
	友安 祐二	三井物産特殊鋼(株)
	新井 信太郎	三菱製鋼(株)
	鈴木 俊一	(株)鈴木鋼商店
	瀧澤 祥一	大同アミスター(株)
大阪支部（1名）	橘 康子	大同特殊鋼(株)
名古屋支部（7名）	奥村 友康	永田鋼材(株)
	石田 淳子	"
	田中 潤	"
	鈴木 洋子	大同特殊鋼(株)
	玉田 純也	石原鋼鉄(株)
	荒川 直也	中野ハガネ(株)
	下坂 勇介	(株)山一ハガネ

以上

## 平成15年度 特殊鋼販売技士 2級合格者名簿

### 東京支部

Aグループ（構造用鋼・パネ鋼）  
合格者16名

水口 秀亮	山陽特殊製鋼(株)
大西 哲雄	(株)マクスコーポレーション
今津 紀浩	"
南保 太郎	中川特殊鋼(株)
湯山みのり	"
藤岡 克典	ヤマト特殊鋼(株)
友安 裕二	三井物産特殊鋼(株)
新井信太郎	三菱製鋼(株)
富下 真吾	清水金属(株)
野口 竜一	合同製鋼(株)
田中 啓和	浅井産業(株)
岡崎 正稔	合鐵産業(株)
平井 順一	(株)ヤマコー
河村 康史	"
鈴木 俊一	(株)鈴木鋼商店
戸田 洋平	佐藤商事(株)

Bグループ（工具鋼・軸受鋼）  
合格者14名

久我美住子	小山鋼材(株)
岡山 哲雄	(株)マクスコーポレーション
宮田 正知	三五金属(株)
八高 寛隆	扇鋼材(株)
北川 貴一	日立金属(株)
小泉 智史	浅井産業(株)
西田 邦彦	"
山片 康人	(株)鐵鋼社
今井 誠	"
佐々木 仁	中山商工(株)
座間 一浩	"
青野 託巳	石原鋼鉄(株)

瀧澤 祥一 大同アミスター(株)  
進藤章一郎 興亞産業(株)

### Cグループ（ステンレス鋼・耐熱鋼） 合格者19名

上村 英弘	サントク精研(株)
益子 秀秀	(株)ブルータス
津波古健志	"
竹村 直樹	藤田商事(株)
高山 博	"
水守 昌樹	山陽特殊製鋼(株)
西沢 弘晃	大同興業(株)
藤原 尚吉	大同特殊鋼(株)
佐村 涉	"
溝尾 岳史	"
寺沢 大輔	"
岡田 清孝	秋山精鋼(株)
藤川 裕之	"
保坂 康仁	佐藤商事(株)
安西 拓	"
森川 冬樹	"
吉田 等	阪和興業(株)
山本 達也	(株)マクスコーポレーション
吉原 正貴	"

### 大阪支部

Aグループ（構造用鋼・パネ鋼）  
合格者20名

望月 隆弘	愛知製鋼(株)
榎川 弘治	川鉄商事(株)
百瀬 大介	山陽特殊製鋼(株)
出雲 克彦	JFEスチール(株)
狩谷 秀昭	"
入江健太郎	大同特殊鋼(株)
竹田 一彦	"
橘 康子	"
網干陽一郎	アサヒスチール(株)
真鍋 亮一	"
五嶋 史朗	井上特殊鋼(株)
石川 将巳	"
佐佐 寿信	"
吉川 真一	"

森中 崇之 櫻井鋼鉄(株)  
井上 昌義 "  
李 曉林 (株)天彦産業  
川端 英孝 林田特殊鋼材(株)  
岡本 圭生 山本鋼材(株)  
尾野 忠 陽鋼物産(株)

### Bグループ（工具鋼・軸受鋼） 合格者20名

越智 一禎	植田精鋼(株)
遠藤 隆久	大同特殊鋼(株)
岡村 彰大	日立金属(株)
川添 博行	"
藤吉 章	理研製鋼(株)
菊池 啓一	ウメトク(株)
緒方 明	"
高塚 章司	"
岡野 成紀	"
松山 泰典	扇鋼材(株)
竹内 直人	三和特殊鋼(株)
有村 晴治	"
尾崎 哲也	日栄鋼材(株)
向田 和広	"
上中 陽治	"
今西 真登	菱光特殊鋼(株)
瀬尾千亜紀	ウツホルム(株)
山城 勝利	"
大木 靖裕	(株)因幡テクノ
森岡 真善	大同アミスター(株)

### Cグループ（ステンレス鋼・耐熱鋼） 合格者9名

中川 真史	愛知製鋼(株)
白木 昭光	大同興業(株)
岡野慎一郎	大同特殊鋼(株)
寺本 豊	辰巳屋興業(株)
高橋 真吾	(株)阪神メタリックス
山内 貴司	山進産業(株)
岡本 直樹	"
寺山 勝紀	陽鋼物産(株)
熊田 司	"

### 名古屋支部

Aグループ（構造用鋼・パネ鋼）  
合格者19名

田野 嘉隆	浅井産業(株)
釣谷 亮介	"
佐々木将也	"
石田 晶敬	石田特殊鋼(株)
石田有真男	"
石黒 敬史	川本鋼材(株)
水野 真一	"
武藤 久義	"

原田 修男 孟鋼鉄(株)  
篠原 弘樹 辰巳屋興業(株)  
奥村 友康 永田鋼材(株)  
石田 淳子 "  
田中 潤 "  
安部 浩通 愛知製鋼(株)  
高倉 綾子 小木曾工業(株)  
野内 政宏 大同特殊鋼(株)  
坂谷 康輔 "  
鈴木 洋子 "  
大島 康宣 "

### Bグループ（工具鋼・軸受鋼） 合格者26名

玉田 純也	石原鋼鉄(株)
見出 忠	ウメトク(株)
真継 俊輔	"
佐野 光宏	小山鋼材(株)
加古 真裕	(株)三悦
山田 和豊	"
荒川 直也	中野ハガネ(株)
野本 善則	"
横川 泰史	"
柘植 克之	名古屋特殊鋼(株)
平田 哲士	"
安村 文人	(株)勝巻本店
横田 康行	"
桑原 康雄	前田鐵鋼(株)
新田雄一郎	"
新美 智浩	"
土屋 義徳	"
山中 雄二	"
村瀬 眞澄	"
増田 秀光	"
森 竜男	(株)山一ハガネ
土平 勝久	"
下坂 勇介	"
井上 健介	"
谷口 敏一	"
熊野 裕二	(株)不二越

### Cグループ（ステンレス鋼・耐熱鋼） 合格者5名

村若 智里	大同特殊鋼(株)
滝 升博	"
櫻井 一彦	"
齋藤 優司	"
坂井 康郎	"

### 東北支部

Bグループ（工具鋼・軸受鋼）  
合格者1名

渡辺 正義	ノボル鋼鉄(株)
-------	----------

## 平成15年度 特殊鋼販売技士3級研修講座

特殊鋼販売技士3級研修については、東京支部（受講者62名・受験者63名）、大阪支部（受講者90名・受験者87名）、名古屋支部（受講者75名・受験者76名）、北関東支部（受講者8名・受験者7名）、九州支部（受講者24名・受験者24名）において、平成15年4月26日（土）から6月30日（月）まで行い（受講者合計259名・受験者257名）、7月3日（木）前述の各支部において検定試験を行い、東京支部61名、大阪支部83名、名古屋支部76名、北関東支部7名、九州支部24名、合計251名が合格しました。

### 100点取得者 3名

大阪支部（2名）	菊地 啓一	ウメトク(株)
	北村 昭洋	(株)パシフィックソーワ
名古屋支部（1名）	黒木 健児	(株)MTK

以上



# 平成15年度 特殊鋼販売技士 3級合格者名簿

## 東京支部

### 合格者61名

豊島 央志 アサヒスチール(株)  
宮下 真吾 清水金属(株)  
宮田 正和 三五金属(株)  
広瀬 尚文 三井物産(株)  
野谷 吉広 阪和興業(株)  
吉田 等 " "  
佐々木 仁 中山商工(株)  
座間 一浩 " "  
青野 託巳 ニチメン(株)  
一瀬 学 芝本産業(株)  
南保 太郎 中川特殊鋼(株)  
湯山みのり " "  
豊増 法生 インターナショナルアロイ(株)  
田中 秀夫 " "  
上村 英弘 サントク精研(株)  
金本 隆 大同興業(株)  
西沢 弘晃 " "  
嶋崎 真人 特殊金属工業(株)  
近藤 佳子 ナチ鋼材(株)  
藤岡 克典 ヤマト特殊鋼(株)  
友安 裕二 三井物産(株)  
水守 昌樹 山陽特殊製鋼(株)  
北川 貴一 日立金属(株)  
田中 啓和 浅井産業(株)  
西田 邦彦 " "  
小泉 智史 " "  
岩田 学 豊田通商(株)  
倉内 拓也 三菱製鋼(株)  
赤津 広文 " "  
橋本 一司 " "  
大崎 琢 " "  
福嶋 元彦 ウメトク(株)  
川村 優樹 " "  
林 修身 " "  
岡山 哲雄 (株)マクスコーポレーション  
今津 紀浩 " "  
大西 哲雄 " "  
平井 順一 (株)ヤマコー  
野口 竜一 合同製鋼(株)  
藤原 尚吉 大同特殊鋼(株)  
佐村 涉 " "  
寺澤 大輔 " "  
加藤 早苗 (株)ヤマコー  
鈴木 秋 山製鋼(株)  
高野 邦弘 " "  
畠山 智彦 " "  
望月 洋 " "  
伊東 勉 " "  
大芦 義則 日本金属(株)  
田村 拓明 " "  
佐藤 大 大同特殊鋼(株)  
高山 博 藤田商事(株)  
竹村 直樹 " "  
森川 冬樹 佐藤商事(株)  
保坂 康仁 " "  
戸田 洋平 " "  
瀧澤 祥一 大同アミスター(株)  
岡崎 正稔 合鐵産業(株)  
水野 太基 (株)宏和商会

進藤章一郎 興亜産業(株)  
森田 光威 井上特殊鋼(株)

## 大阪支部

### 合格者83名

中川 真史 愛知製鋼(株)  
望月 隆弘 " "  
越智 一禎 植田精鋼(株)  
多田 茂紀 岡谷鋼機(株)  
高橋 稔 川鉄商事(株)  
榎木 弘治 " "  
百瀬 大介 山陽特殊製鋼(株)  
出雲 克彦 JFEスチール(株)  
狩谷 秀昭 " "  
森岡 真善 大同アミスター(株)  
白木 昭光 大同興業(株)  
遠藤 隆久 大同特殊鋼(株)  
岩崎 美里 " "  
岡野慎一郎 " "  
山出 麻里 " "  
竹田 一彦 " "  
入江健太郎 " "  
塩見百合子 " "  
橋 康子 " "  
岡村 彰人 日立金属(株)  
川添 博行 " "  
藤吉 章 理研製鋼(株)  
河村 大介 アサヒスチール(株)  
網干陽一郎 " "  
真鍋 亮一 " "  
細井 泰之 " "  
大坂 崇幸 粟井鋼商事(株)  
中野 達 " "  
信貴 智子 " "  
大木 靖裕 (株)因幡テクノ  
石井 敏博 井上特殊鋼(株)  
石川 将巳 " "  
佐治 寿信 " "  
吉川 真一 " "  
高野 将志 " "  
田畑 勇樹 " "  
吉田 雄亮 ウメトク(株)  
緒方 明 " "  
菊地 啓一 " "  
高塚 章司 " "  
黄 紹軍 " "  
岡野 成紀 " "  
松山 泰典 扇鋼材(株)  
森中 崇之 櫻井鋼機(株)  
井上 昌義 " "  
片野 慎一 佐々木鋼業(株)  
中村 高志 " "  
阪野 年伸 三洋鋼材(株)  
松尾 将司 " "  
竹内 直人 三和特殊鋼(株)  
有村 晴治 " "  
寺本 豊 辰巳屋興業(株)  
李 曉林 (株)天彦産業  
尾崎 哲也 日栄鋼材(株)  
向田 和広 " "  
上中 陽治 " "  
川端 英季 林田特殊鋼材(株)  
高橋 真吾 (株)阪神メタリックス  
塩山 一博 阪和興業(株)  
葉山 繁一 " "  
田中 浩一 " "  
石原 裕士 " "  
今村 暢也 日立金属商事(株)  
山内 貴司 山進産業(株)

岡本 直樹 " "  
樋口 勉 山野鋼材(株)  
岡本 圭生 山本鋼材(株)  
熊田 司 陽物産(株)  
尾野 忠 " "  
今西 真登 菱光特殊鋼(株)  
山城 勝利 ウッデホルム(株)  
瀬尾千亜紀 " "  
世木 宇一 京都磨鋼材(株)  
岡田 昭彦 " "  
上坂元章光 新津田鋼材(株)  
安田 秀治 " "  
白井 良和 (株)白井鐵工所  
後迫 知宏 清和鋼業(株)  
尾越 明弘 太平鋼材工業(株)  
田村 隆明 " "  
北村 昭洋 (株)バシフィックソーワ  
廣田 辰博 (株)北陸コシナカ  
前川 寛明 山野鋼材(株)

## 名古屋支部

### 合格者76名

田野 嘉隆 浅井産業(株)  
釣谷 亮介 " "  
玉田 純也 石原鋼鉄(株)  
片山 徹 ウメトク(株)  
赤木 克行 " "  
内田 茂 小倉鋼機(株)  
多田 裕文 " "  
津田 隆 " "  
加納 武志 川北特殊鋼(株)  
川瀬 規彰 川本鋼材(株)  
野村 和義 " "  
佐野 光宏 小山鋼材(株)  
大久保真也 佐久間特殊鋼(株)  
伊藤 嘉純 " "  
南 忠人 " "  
服部 静香 " "  
津田 勝彦 " "  
伊藤 舞子 " "  
吉川 幸治 (株)三悦  
加古 岳士 " "  
早川 容洋 杉本八ガネ(株)  
八木 史 大洋商事(株)  
谷口 竜也 辰巳屋興業(株)  
奥村 友康 永田鋼材(株)  
石田 淳子 " "  
田中 潤 " "  
荒川 直也 中野八ガネ(株)  
野木 善則 " "  
図師 佑一 " "  
横川 泰史 " "  
塩見 健二 名古屋特殊鋼(株)  
打本 涉 " "  
秋田 雅之 " "  
中村 土門 (株)ハヤカワカンパニー  
林 清華 " "  
平澤 貴久 " "  
倉品 尚幸 (株)藤巻本店  
加藤 公健 " "  
杉浦 弘忠 " "  
桑原 康雄 前田鐵鋼(株)  
新田雄一郎 " "  
新美 智浩 " "  
上平 勝久 (株)山一八ガネ  
森 竜男 " "  
保田 修一 " "  
下坂 勇介 " "  
井上 健介 " "

谷口 敏一 " "  
板倉 隆夫 愛知製鋼(株)  
今西 拓意 " "  
新美 芳明 " "  
松原 稔 MTK(株)  
黒木 健児 " "  
高倉 綾子 小本曾工業(株)  
菊池 一記 桜井興産(株)  
後藤 敦宏 " "  
雪本 修平 山陽特殊製鋼(株)  
大島 康宣 大同特殊鋼(株)  
斉藤 優司 " "  
櫻井 一彦 " "  
米沢 明浩 " "  
坂谷 康輔 " "  
野内 正宏 " "  
吉村 英子 " "  
中山 知子 " "  
坂井 康郎 " "  
後藤 雅夫 日本金属(株)  
熊野 裕二 (株)不二越  
西島 努 佐藤商事(株)  
群 佑亮 東洋精鋼(株)  
原田 重幸 (株)中村鉄工所  
宮崎 浩幸 " "  
甲斐 裕治 " "  
武田 辰弥 大同興業(株)  
西山 直行 大同アミスター(株)  
秋武 光典 " "

## 北関東支部

### 合格者7名

渡部 智樹 アサヒスチール(株)  
斉藤 俊之 井上特殊鋼(株)  
加藤 真也 (株)マクスコーポレーション  
鈴木 是昭 (株)竹内八ガネ商行  
小野木美明 " "  
服部 正志 (株)マキノスチール  
岩崎 和孝 蔵前産業(株)

## 九州支部

### 合格者24名

濱下 武 (株)ケイ・エス・スチール  
三浦 篤 " "  
稲垣たか子 大同特殊鋼(株)  
野村 弥生 " "  
藤木 洋子 粟井鋼商事(株)  
三好 祥介 堤鉄鋼(株)  
佐伯 博行 三好 祥介  
徳永 忠行 " "  
鷹取 聡志 " "  
丸谷 哲人 井上特殊鋼(株)  
洲上 健一 " "  
秋吉 和典 大洋商事(株)  
高津 嘉史 " "  
吉永 裕章 " "  
太田 康晴 " "  
金 世永 " "  
梅木 顕祐 日栄鋼材(株)  
生野 米一 清水金属(株)  
青木 量次 " "  
徳平 隆弘 日鷹特殊鋼(株)  
寺崎 和生 " "  
安部 佑貴 (株)九州メタルス  
衛藤 睦子 " "  
岩城真由美 " "

「特殊鋼販売技士」「特殊鋼販売加工技士」支部別有資格認定者累計表 平成15年11月20日現在

### 特殊鋼販売技士 支部別有資格認定者

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	静岡	九州	その他	計
1級	753	642	324	33	22	48		1	1,823
2級	1,223	1,136	673	56	56	80	54	40	3,318
3級	1,941	1,295	1,118	103	92	164	86	183	4,982
計	3,917	3,073	2,115	192	170	292	140	224	10,123

### 特殊鋼販売加工技士 支部別有資格認定者

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	静岡	九州	その他	計
実務編	120	76	53						249
基礎編	459	447	343	100	22	26	40	72	1,509
計	579	523	396	100	22	26	40	72	1,758

### 特殊鋼販売技士・販売加工技士 支部別有資格認定者累計表

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	静岡	九州	その他	計
合計	4,496	3,596	2,511	292	192	318	180	296	11,881

# 突然おじゃま



## 野村鋼機（株）取締役・前橋支店長 / 武田彰久

構造用鋼、工具鋼を中心とする野村鋼機（株）のなかでも、前橋支店は熱間金型の加工・流通のセンター的存在だ。ここの支店長・武田彰久氏は、もっぱら地元の特種鋼流通にかかわり北関東での実績を形成してきた人物だ。

これまでのビジネス談話、日々ビジネス上で気をつけられていること、また余暇の過ごし方など武田支店長の人となりをうかがいながら、前橋支店・加工センターに“おじゃま”してみた。

## カラっ風の里・上州で業界歴35年、ウコンの大家

業界歴35年、  
北関東随一のベテランに

野村鋼機（株）[本社・東京都江東区]は、構造用鋼、ステンレス鋼、工具鋼をはじめとする、各種特殊鋼の流通・加工に幅広くかかわる特殊鋼の専門商社。

そのなかでも前橋支店は、熱間金型のセンター的存在として北関東地域を核に自動車、建機、弱電ローターなどの分野の鍛造メーカーに製品を納入している。

今回訪問した前橋支店の支店長・武田彰久氏は、地元安中市出身で昭和12年生まれ。特殊鋼流通の世界に足を踏み入れて35年、ご本人いわく、「北関東の特種鋼業界では、一番の年寄りになってしまいました。」と苦笑する。つまり、オーナー社長をのぞけば北関東随一の長老といってもいいわけだ。地元群馬で育ち、地元群馬の業界で連綿とキャリアを積まれた武田氏は「北関東のお客さんのことは、大抵が頭の中に入っている。」という。

現在の前橋支店の中核になっている熱間金型も18年ほど前に武田氏の営業によって始められたビジネスだ。鍛造メーカーをユーザーの主体に当初は販売のみだったが、その後簡単な面加工も施すようになり、現在ではハンマー、プレス品を中心に加工から流通までを手がけるようになっていく。また、金型に付随するプレート部品の成形なども手がけて、従来の構造用鋼一辺倒の営業に多様性を持たせてきた立役者でもある。

現在では、構造用鋼、工具鋼の加工販

売に加え、2年前にステンレス専門販売の（株）ティ・エヌスチールをM&Aで関連会社化したことにより、産業機械の各種のステンレス鋼の販売の拡大を計っている。

自家製で仕上げるウコンで健康管理

ビジネスとは別に、武田氏を業界で高名ならしめているものがウコンである。

ウコン（鬱金）とは熱帯アジア原産のショウガ科の多年草で、昔から中国では根茎を薬草として使用する。黄染草とも呼ばれ、たくあんの色づけに使われるうきん粉やカレー粉に使われるターメリックもウコンのことである。

薬効として代表的なのが健胃効果で、スパイスたっぷりのカレーを大量に食べても胃にもたれないのは、ウコンの効能ともい

われている。他、肝機能の強化に役立つ二日酔いがしにくくなる、血液の循環がよくなり血圧降下作用があるなど、ストレスとハードワークにさらされている現代人にはピッタリの薬効があるといわれている。また、不足しがちなミネラルが豊富なため、美肌効果やダイエット効果、またはガン予防にも効果ありとの研究報告もある。

このようなウコンを、武田氏は自宅の家庭菜園で自ら栽培。12月ごろに収穫した後は念入りに乾燥させて自前の粉砕機で丹念に粉末にする。それを毎日ティースプーン1杯くらいを目安に、黒ゴマきな粉とあわせて牛乳に溶いて飲む。ここ10年間ウコンの飲用を習慣化して、健胃と血圧降下には武田氏自身も効き目を実感。取引先の関係者にもこの効能を紹介するとともに、希望する人にはピンポイントにした



前橋支店スタッフのみなさん（前左から＝堀江さん、中沢さん、平井さん、高橋さん、後ろ左から＝小山さん、武田さん、中田さん）



野村鋼機（株）前橋支店・加工センター

粉末ウコンを1年分進呈している。7～8社のお客さんを中心に毎年贈っていることで、「ウコンの武田」といえばちょっと有名ですよ」と苦笑するご本人だ。

ウコンに武田氏が取り組みだしたのは、10年前に心筋梗塞を患ったのがきっかけだ。当時、病院に担ぎ込まれてから人事不省となり、数日間の危篤状態に陥った武田氏が回復後に健康管理の一環として始めたのがウコンの栽培と飲用だったわけだ。

「もともと物を作ることが好きで、野菜の栽培などは手がけていたので薬効のあるウコンを始めてみたわけです。スライスして乾燥させたウコンの根茎は非常に硬い。最初は料理用のミルを使って砕いていました

が、今では大型の粉砕機を購入して粉末にしています。」という念の入りようだ。

#### 現場の安全管理にはことのほか留意

前橋支店・加工センターでは、アマダ製全自動バンドソー〔400型～1300型〕5台をはじめ各種機械設備が整然とならぶ。また、門型プラノミラ、大型マシニングセンターなど充実した加工設備が整い在庫能力は2,000トンを超える。

武田支店長は毎朝8時には現場に顔を出す。特殊鋼歴35年の今でも、現場を把握することで仕事を理解しようと努めているからだ。特に整理整頓に関しては安全管理

の根幹になるのでことのほか注意するという。現場を知ることが、仕事全般の把握になると武田支店長は考え、できる限り現場に顔を出すように心がけているという。



整理整頓がいきとどいた倉庫・加工センター





# 私の愉しみ

蔵前産業(株)代表取締役／橋本 勝



## 男は山に魅せられ、永遠の美を記す

群馬県前橋市に本社のある蔵前産業(株)は、医用機器部品や半導体設備部品などの精密部品加工を手がける。また、各種金型の設計製作や紙容器の特殊金型の開発など特殊鋼流通だけにとどまらない開発型のメーカーであるのが特色だ。

そんな蔵前産業(株)の橋本社長は、札幌オリンピック(昭和47年)当時までは本業と並行してプロカメラマンとして鳴らした異色のキャリアを持つ。現在は山岳写真をライフワークに活動を続け、国内の写真界で確固たる地位を有する氏の写真家として、および登山家としての履歴を紹介してみたい。

### 戦後の写真界、山岳界の王道を歩む

橋本社長がカメラと親しみだしたのは小学生のころからで、写真好きの叔父の影響によるものだった。高校時代に

は写真部に所属しさまざまな被写体を追う日々を過ごし、フォトジャーナリストの横山宗一郎氏(故人)に誘われて東京の「蒲田無名会」に入会したのが昭和33年のこと。蒲田無名会とは、かつて蒲田に撮影所があった松竹映画のカメラマンたちが中心となって昭和8年に発足した会で、さまざまなジャンルの芸術写真を追求していた写真クラブだ。ここで、橋本社長は高度な写真撮影の技法を身につけ、のちに雑誌社や通信社の写真を依頼されるようになる技術を形成していくことになる。

高校時代にはじめた登山に関しては、経験を積むごとにますます山岳に対する憧憬が強くなり、「いずれはヒマラヤを目指したい」と思うようになり、24歳のときに「東京雲稜会」に入会した。東京雲稜会とは、当時もっとも気鋭な社会人山岳会で谷川岳・一の倉沢衝立岩の冬季初登攀など輝かしい記録を持

つ伝説の山岳会である。橋本社長はこの雲稜会の多くの山行に同行し、当時の貴重な登攀記録として数多くの写真を残している。こうして、国内の山はほとんど制覇、さらに昭和44年には台湾の最高峰・玉山(新高山3997m)に戦後日本人としては初登頂。ヨーロッパアルプスやヒマラヤにもその足跡を残している。

このような履歴を振り返ると、戦後の写真界、山岳界のいわばエリートコースを歩んできたというわけだ。

### 西側人では初の秘境に挑む

こうして紹介すると山岳と写真にどっぷりと埋没した人生のようだが、社会人山岳家である以上勤務のかたわらであるのはいうまでもなく、と同時に現在の事業の準備も進めておられた。現在の蔵前産業を創立されたのが、台湾の玉山と同じ昭和44年であり、また事業と並行しながら、山岳写真やスポーツ写真を雑誌社や通信社に寄稿されていたのだからその精力には驚いてしまう。

ただし、プロカメラマンとしては本業に専念するために、札幌オリンピックの公式カメラマンを最後に断念。以降は、山岳写真をライフワークにアマチュアの写真家として活躍されている。もっともアマチュアといってもその実績と肩書きはそうそうたるもので、現在は「日本山岳写真協会」の副会長として国内外の著名な写真家と名を連ね、また同協会両毛支部の支部長として後進の指導にもあたっている。

そんな橋本社長の登山活動と山岳写真の白眉ともいえる作品が、平成11年に



満月とカミン



吹雪のベースキャンプ

発刊された写真集「カムチャツキーの巨人」である。これは、旧ソ連崩壊直前の1991年4月19日から5月10日までのカムチャツカ半島最高峰・クリュチェフスカヤ山（4808m）への登頂記録がまとめられたものである。当時、ソ連領であったカムチャツカ半島は東側の調査目的以外での人跡はまれで、手つかずの自然が残る最後の秘境といわれていた。橋本社長は東京雲稜会の登山隊として参加。西側の外国人としては初のカムチャツカ半島最深部への踏破となった。

クリュチェフスカヤ山は、時おり噴煙を上げる活火山で、氷河に覆われ気象条件も厳しい危険な山だ。隣接するカミン山（4580m）とともに、現地では「カムチャツキーの巨人」と恐れられている。橋本社長ら一行は、ベースキャンプで氷点下10度、頂上では同25度のなかをおして5月2日に登頂に成功。山は小規模な噴火を繰り返し、火山弾を



カミン山

避けながらの登山をおこなった。山頂付近は地熱で雪が解け、登山靴が足首まで埋まるような泥土だったという。

こうしたなかで橋本社長は7000枚を超えるカットを撮影。ほとんどの隊員が高山病に悩まされるなか、撮影で動き回っていたので元気そのものだったという。ただし、厳寒のなかでシャッターを押し続けたため、帰国後5カ月以上も手のしびれが回復しなかったという。

#### 圧倒的迫力の山岳美を見せつける写真集

写真集「カムチャツキーの巨人」では、山に魅せられた写真家が美しくも恐ろしいまでの自然を圧倒的迫力の映像で再現している。カミン山での写真（左下）では、猛烈なブリザードが山を直撃している瞬間が記録されている。このときは、雲が割れ、氷が飛び、体感温度は氷点下40度を下回り、立っているのが精一杯だったという。まさに、大自然の凄まじさをまざまざと見せてくれる1枚だ。

吹雪のベースキャンプでの写真（上）でも、常に強風にさらされているカムチャツカの生活がうかがえる。厳寒のなかでもシャッターを切るときは素手になり、常に凍傷の危険がつきまとう。撮影はいつも一瞬の勝負であるという。厳しい自然を写し出した上記2点にくら

べ、満月とカミンと題された写真は、自然の持つ一面を対照的に捉えた作品だ。黎明のころ、満月とならぶ巨人はあくまでも静かで、大地にまだ悠久という時間があるのを感じさせてくれる。

写真集には、ダイヤモンド・ダストや虹に輝く山々などの山岳美のほか、カムチャツカの首都ペトロパブロフスク・カムチャツキーの人々の生活もハートフルな視点から捉えられており、ソ連時代の西側人の記録としても貴重なものとなっている。

「カムチャツキーの巨人」は帰国後早々に各地で写真展が開かれた。また、2002年の国連山岳年では日本山岳写真協会出展リストとして、東京青山の国連大学本部などでの展示を果たしている。

現在でも1年を通じて山岳と写真をライフワークにする橋本社長だが、晩秋のころ冷たい雨が前橋市内に降ると気持ちにはやるという。そんな翌日は、仕事の合間をぬって谷川岳・一の倉沢へと車を走らせる。その年初めて冠雪した岩稜にカメラを向けるためだ。



モンブラン滑降の三浦敬三さんと  
（02年10/31山岳写真協会風見会長88歳の祝賀会の集いにて）

# 理事会・委員会報告

## 第20回理事会

平成15年11月27日（木）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

### (1) 議案

次の議案について審議を行い承認した。

第1号議案 会員の入会承認の件

### (2) 報告事項

平成15年度上期事業報告・収支決算について

委員会報告

事務局報告

## 第18回内外交流委員会

平成15年10月6日（月）

名古屋・名鉄ニューグランドホテル

### (1) 審議事項

平成16年度委員会事業について

タイ特殊鋼流通事情視察研修について

支部活動報告

## 第30回運営委員会

平成15年11月27日（木）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

### (1) 審議事項

第20回理事会に付議する次の審議事項について審議を行い了承した。

会員の入会について

第8回定時総会の開催地について

### (2) 報告事項

平成15年度上期事業報告・収支決算について

委員会報告

支部報告

事務局報告

## 第17回人材育成委員会

平成15年11月20日（木）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

### (1) 審議事項

人材育成事業の進め方について

#### 特殊鋼販売技士検定試験委員会（於：鉄鋼会館）

平成15年5月26日（水）（3級試験問題の選定）

平成15年7月3日（木）（3級検定試験）

平成15年7月24日（木）（3級検定試験の合否判定）

平成15年9月18日（木）（2級試験問題の選定）

平成15年10月30日（木）（2級検定試験）

平成15年11月20日（木）（2級検定試験の合否判定）

## 第23回総務委員会

平成15年11月19日（水）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

### (1) 審議事項

第30回運営委員会の審議事項について審議を行う了承した。

会員の入会について

第8回定時総会の開催地について（東京支部が企画運営に協力することを了承した。）

### (2) 報告事項

平成15年度上期事業報告・収支決算について

平成16年賀詞交換会について

## 第21回調査研究委員会

平成15年9月8日（月）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

### (1) 審議事項

特殊鋼流通加工業の現状分析と将来像の模索について  
経営環境等に関するアンケートについて



## 将来ビジョン等に関する ワーキング・グループ会議

第1回：平成15年10月27日（月）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

メンバーの紹介

グループリーダーの選出

本調査研究の進め方と概要

第2回会議の宿題について

第2回：平成15年12月4日（木）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

第1回会議の結果の報告とまとめ

メンバーによる報告と検討

第3回会議の宿題について

## 広報委員会

第1回：平成15年9月4日（木）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

(1) 審議事項

委員長の選出

広報誌「すてい～る」について

ホームページについて

「はがねの日（仮称）」の制定について

第2回：平成15年11月5日（水）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

(1) 審議事項

広報誌「すてい～る」22号について

今後発行する広報誌の内容について

「はがねの日（仮称）」について

## 経営効率化委員会

第1回 / 第8回共通通い箱普及推進グループ会議：

平成15年9月16日（火）

名古屋・名鉄ニューグランドホテル

(1) 審議事項

特殊鋼の流通に係る商慣行の改善について

特殊鋼の物流合理化と共通通い箱の普及推進事業について

会員相互の意見交換

共同化・共業化などの支援体制について

## 青年部会

第3回定時総会：平成15年10月24日（金）

東京・鉄鋼会館7階 704号室

(1) 議案

次の議案について審議を行い承認した。

第1号議案 平成15年度事業計画書（案）承認の件

第2号議案 平成15年度事業予算書（案）承認の件

第3号議案 運営委員選任及び顧問承認の件

(2) ビジネスサミット

第5回正副部会長会議：平成15年8月4日（月）

大阪・ヒルトンホテル

(1) 審議事項

平成15年度事業スケジュール及び活動の内容について

## 新入会員の紹介

会員の種類	会員名	代表者名	所在地	所属支部	入会年月日
正会員	徳田鉄鋼(株)	代表取締役 美好 宏信	兵庫県尼崎市	大阪	平成15年7月11日

# 事務局だより

## 1 経済産業省製造産業局鉄鋼課の人事異動

平成12年12月26日から当協会の運営についてご指導いただきありがとうございました半田力課長が平成15年7月11日付で、中小企業庁政策調整課長として転出されました。新天地でのご活躍を祈念しております。

後任は、粕谷敏秀（かすたに としひで）氏 [大臣官房参事官（国会担当）から] です。

## 2 平成16年 賀詞交換会のお知らせ

協会 平成16年1月23日（金）18:00～20:00 於：グランドヒル市ヶ谷 瑠璃の間  
東京支部 協会との合同開催  
大阪支部 （社）特殊鋼倶楽部/大阪ステンレス流通協会との共催  
平成16年1月5日（月）11:30～於：リーガロイヤルホテル3階 光琳の間  
名古屋支部 （社）特殊鋼倶楽部/名古屋ステンレス流通協会との共催  
平成16年1月9日（金）18:00 於：名古屋観光ホテル 那古の間  
東北支部 講演会とメーカーとの情報交換会を開催  
平成16年2月6日（金）13:30～18:30 於：ホークスGホテル仙台  
北関東支部 同時に大同特殊鋼（株）洪川工場見学会とメーカー市況説明会を開催  
平成16年2月11日（水） 於：伊香保温泉「東急ピラ」  
静岡支部 平成16年1月23日（金）17:00～ 於：静岡グランドホテル中島屋  
九州支部 九州ステンレス流通協会との共催  
平成16年1月8日（木）17:30～於：博多全日空ホテル 万葉の間

## 3 大阪支部事務局長が曾根衛氏から亀岡 重治氏に交代



### 【略歴】

昭和32年3月、山陽製鋼（株）[現、山陽特殊製鋼（株）]入社（資材部資材課）。特殊鋼鉄屑需要委員会（Bカルテル）出向を経て山陽特殊製鋼（株）東京支店、名古屋支店、大阪支店、広島支店の販売課勤務。山陽第2棒線設備稼働に伴い、大阪支店販売3課長。山陽金属粉末設備稼働に伴い、粉末事業部営業室課長。その後、陽鋼物産（株）大阪支店部長、九州営業所長を経て平成12年6月退職のち平成15年8月1日、大阪特殊鋼3団体事務局長に就任。

## 4 各種アンケート調査に対する御協力をお願い

会員の皆様に当業界の現状等の情報をお知らせするために、下記のアンケート調査を実施しておりますが、回答率が40%弱と低いので、あらためて、これらの調査に御協力下さいますようお願い申し上げます。

統計調査・・・・・・・・・・ 毎月の在庫の受払いと月末在庫をお聞きしております。  
(平均回答率 38.5%)

景況アンケート・・・・・・・・ 年間4回、四半期ごとに景気の動向をお聞きしております。  
(無記名 平均回答率35.3%)

経営環境等に関するアンケート・・・・・・・・ 昨年度から実施（無記名）。本年度は12月1日回答期限で正会員312社にお願い申し上げましたが、12月10日現在の御回答数は93社（29.8%）しかありません。

11月7日付で各位に調査票をお送り申し上げますので、お手元の回答用紙を再度、ご確認いただき今からでも結構ですので協会事務局までFAXしてください。（FAX 03-3669-0395）

## 5 共通通い箱「おかよちゃん」鉄鋼製・改良型（小）を、「経営効率化委員会の審議」で、標準仕様とすることになり、従来の鉄鋼製（大）（小）を（大）（中）と、この改良型を（小）と呼ぶことにいたしました。このパンフレットを作成中で、できましたら会員各位に配布すると同時に、関連団体にもP.R.して、広く鉄鋼業界にこれらの共通通い箱を普及させたいと考えております。

## 編集後記

本年も余すところ、10日ほどとなり、皆様方には年末年始の準備にご多忙な時間を過ごされていることと存じます。

6月2日、開催されました第7回定時総会において、広報委員会が新設されました。委員には、業界で活躍中のメンバーを、全国から推薦していただきました。今回の22号が広報委員会の初仕事です。出来ばえはいかがでしょう。会員企業の一般社員にも親しく読んでいただく内容をめざします。皆様のご意見、ご要望を是非とも、広報委員会へお寄せください。「すてい～る」を皆様に愛される広報誌にしたいと思います。

来年も皆様にとって良い年でありますよう、お祈り申し上げます。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者/竹内 誠二